

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 西濃高等特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年10月29日(水) 10:00～12:00
- 3 開催場所 西濃高等特別支援学校 実習棟3 会議室 (参集による開催)
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	大橋 奈麻輝	大垣市社会福祉協議会 事務局長
副 会 長	加藤 千恵美	大垣市くすのき苑 所長
委 員	粥川 加奈子	大垣市議会議員
	虫賀 恭子	大垣商工会議所 女性会 会長
	上田 哲弘	日新連合自治会長
	柳瀬 芳仁	大垣青年会議所 理事長(欠席)
	大原 里美	西濃障がい者就業・生活支援センター 所長(欠席)
	森 裕子	本校 PTA会長
学 校 側	高木 靖	校長
	井川 匡	教頭
	井上 裕詞	事務長
	馬淵 陽子	部主事
	宮脇 智之	教務主任
- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 令和7年度 前期の学校運営について
 - (2) 学校評価アンケート 集計結果について
 - (3) 専門コース生産品価格について(新規提案分)

カフェテーブル	6,000円
マーマレードマドレーヌ	100円

 上記、いずれも適正な価格であると承認が得られた
 - (4) 後期の学校行事計画について
 - (5) 喫茶サービス実習の参観
 - (6) 意見交換
- 6 委員からの意見

意見1: 本校は指定避難所になっているので、避難所運営の訓練も行ってほしい。

意見2: 教員の労働時間は短縮してほしいが、その中で児童生徒に接する時間は減らしてほしくない。

意見3: 1年生が2・3年生に成長した姿も見たい。本校の卒業生が就職先でしっかり働いて

いることに感心している。

意見4：マスク越しでも生徒の目がやさしく、笑顔が見られた。当施設で働く卒業生は、自信をもって話す姿が印象的であり、学校で学んだことを自信をもって説明していた。

意見5：実習では、生徒の特性や将来の希望に合った役割を与えてほしい。企業にとって、本校の生徒は障がい者枠や高卒枠での採用において非常に有利であり、真面目で良い生徒が多い。

意見6：安全教育は企業にとって重要である。教員が生徒一人ひとりの良いところを見極め、どんな仕事に向くか将来の職業選択を支援してほしい。

意見7：地域との触れ合いは双方にとって良いことであり、この地域にも良い影響がある。喫茶厨房にいた生徒たちの挨拶もすばらしかった。

意見8：職場で高卒の新入社員を指導することがあるが、本校の生徒や卒業生のほうが常識やマナーが備わっていると感じる。

7 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、今年度前期における本校の学校運営の報告や、学校評価アンケートの結果と考察に対する意見を得られ、専門コースの生産物の価格については、参加した全委員より承認が得られた。

また、写真や動画による前期の学習活動の報告や、喫茶サービスにおける生徒の接客や応対を直接的に参観されたことで、本校生徒の取り組みの様子について具体的に理解いただき、評価を得られた。

委員の意見を踏まえ、安全教育や防災教育を充実させていくとともに、今後も地域・企業・支援機関との連携を深め、生徒の自立と社会参加を支援していく。引き続き、地域との連携や各種機関の協力を得るため、各委員の助力をいただくことを求め散会した。